

平成21年度事業報告書

(平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日)

財団法人DNP文化振興財団

平成 21 年度事業報告書
(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

1 アーカイブ事業

(1) 田中一光アーカイブ

平成 20 年度に、故田中一光氏の幅広い作品(ポスター作品、蔵書、その他資料)を、CCGA収蔵庫を改修し収蔵しました。

平成 21 年度は、本人が制作にたずさわったポスター作品をほぼ抽出完了し、現在データベースを整備しています。作品情報を精査し、サムネイル画像と合わせて入力し、DBの精緻化を進めています。

○資料内訳

①作品	ポスター	約 2,600 点
	版画	約 230 点
	エディトリアル	約 1,440 点
	その他(V.I.等)	約 100 点
②資料	作品複写ポジ	約 1,500 点
	その他写真	約 270 点
	その他書類等	約 7,000 点
③他作家作品	ポスター	約 1,000 点
	その他美術品	約 100 点
⑤蔵書		約 13,000 点
⑥重複その他		約 15,000 点

(2) ポスターアーカイブ (平成22年3月末現在)

1 収蔵作家: 100 名 (平成21年度に海外作家33名を収蔵し追加登録)

2 総点数: 約 8,300 点

3 平成21年度日本人作家の受入れ状況:

伊藤憲治 約 100 点

森本千絵 約 100 点

日比野克彦 約 350 点



(3) 福田繁雄ポスターアーカイブ

平成 21 年度に、福田繁雄氏の資料約 7 万点を寄贈いただき、整理ならびに DB への登録を行ないました。

○資料内訳(現時点での調査点数)

①作品	ポスター	1,543 点
	版画	179 点
	その他	100 点
②他作家作品	ポスター・版画	369 点
③重複その他		67,980 点



(4) アーカイブ作品寄贈

福田繁雄アーカイブから

- 寄贈先: 島田紙わざ探検隊 寄贈日: 平成 21 年 10 月 22 日
「第 1 回紙わざ大賞」(1991)×10 枚、「第 2 回紙わざ大賞」(1992)×10 枚
- 寄贈先: 国際交流基金に対して 寄贈日: 平成 21 年 12 月 19 日
「SHARAKU」(1992) 2 種×各 1 枚

(5) トロント日本文化センター(カナダ)へのアーカイブ作品の貸出

「花開くグラフィックス 佐藤晃一ポスター展」に

本人作品 70 点を貸出しました。

会期: 平成 21 年 9 月 2 日～11 月 7 日

会場: トロント日本文化センター 2 階

主催: 国際交流基金トロント日本文化センター

協力: DNP 文化振興財団 / CCGA

概要: トロント文化センターでは、従来から日本のグラフィックデザイナーのポスター展を開催しています。今回は、佐藤晃一氏のポスターデザインとプロダクトデザインというテーマで展示されました。



(6) 人物アーカイブ

平成20年度に制作した「CREATORS FILE—グラフィックデザインの時代を築いた20人の証言—」を全国の主要なデザイン系大学・専門学校、図書館、美術館等の文化施設に寄贈しました。

構成：DVD20編＋冊子(論考、作家年譜等)/ケース入り

制作本数：200セット

主な寄贈先

九州大学、東京藝術大学、筑波大学、金沢大学、慶應義塾大学、
京都造形芸術大学、拓殖大学、長岡造形大学、武蔵野美術大学、
多摩美術大学図書館、女子美術大学図書館、桑沢デザイン研究所、
東京都立工芸高等学校、アド・ミュージアム東京、国立近代美術館、
宇都宮美術館、世田谷美術館、川崎市市民ミュージアム、
東京都現代美術館、東京都写真美術館、新潟県立近代美術館、
国立国会図書館東京本館、印刷図書館 ほか



2 展示事業

(1) ggg(ギンザ・グラフィックギャラリー)の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル1階、地下1階

日曜・祝祭日休館 11:00a.m.ー7:00p.m.(土曜日は6:00p.m.まで) 入場無料

■第274回 09TDC展

会期：平成21年4月3日～4月25日

入場者：5781名、一日平均：289名

「東京TDC賞」の、2008年の応募作品3316点の中から厳選な審査の結果選ばれた受賞作品9作品をはじめ、ノミネート作品、優秀作品を合わせた160作品を展覧しました。

最新鋭の作品や、新しい可能性を含んだ実験作品など、日本だけにとどまらない、世界から集まった秀作の数々が一同に並び、日本発のユニークなデザインセレクションの妙を展開しました。



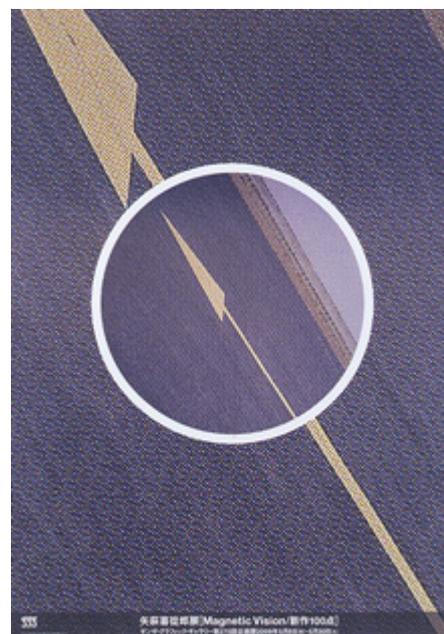
■第275回 矢萩喜從郎展

会期：平成21年5月8日～5月30日

入場者：2799名、一日平均：140名

展示会サブタイトルを「Magnetic Vision」とし、100点に及ぶ新作を展示しました。

視覚世界の新たな探求を展開しています。虫眼鏡の原理の逆の見え方で、レンズの内側と周囲の景色を、磁力によって引き寄せたような作品を連続して展示しました。



■第 276 回 マックス・フーバー展

会期：平成 21 年 6 月 5 日～6 月 29 日

入場者：4836 名、一日平均：230 名

前衛的な美的感覚をたくみに商業デザインに持ち込んだ一人のグラフィックデザイナー(マックス・フーバー)をテーマとして企画されました。

ポスター作品、雑誌作品、装丁作品などの代表作のほか、彼のデザインワーク全容を紹介しました。

後援＝スイス大使館、イタリア大使館



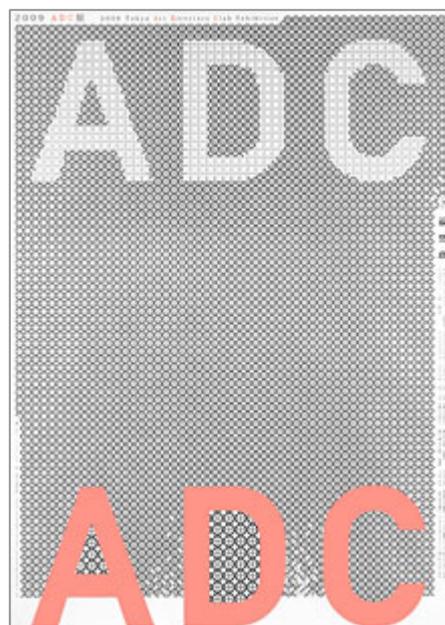
■第 277 回 2009ADC展

会期：平成 21 年 7 月 6 日～7 月 29 日

入場者：5752 名、一日平均：288 名

ADC(東京アートディレクターズクラブ)は、1952年の創立以来、日本の広告界を牽引する活動を続けています。

2009年度ADC賞は、年間に発表されたポスター、新聞雑誌広告、エディトリアル、パッケージ、CI、ディスプレイ、TVCFなど多ジャンルのコンペティション。gggでは、この審査で選ばれた会員作品の受賞作品、優秀作品を展示しました。



■第 278 回 細谷巖アートディレクション展

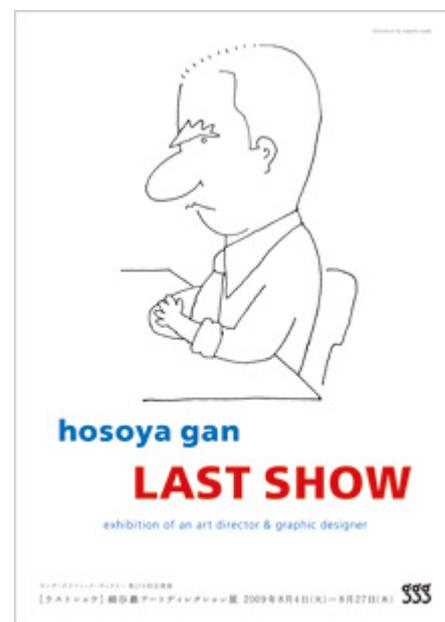
「ラストショー」

会期：平成 21 年 8 月 4 日～8 月 27 日

入場者：4395 名、一日平均：209 名

現在、ライトパブリシティ社の会長を務め、時代とともに数々の名作を残してきたアートディレクター細谷巖氏の個展を開催しました。

ギャラリー1階には、自選の名作24点を展示し、地階には今回の個展のために作られた、本人の今日までに語り記してきた名言をヴィジュアルにした新作48点を展示しました。



■第 279 回 銀座界限隈ガヤガヤ青春ショー

～言いだしっぺ横尾忠則～

灘本唯人・宇野亜喜良・和田誠・横尾忠則4人展

会期：平成 21 年 9 月 2 日～9 月 29 日

入場者：5524 名、一日平均：263 名

横尾忠則氏の思いつきにより、60年代の銀座とイラストレーションをテーマに、灘本唯人・宇野亜喜良・和田誠・横尾忠則4人展が実現しました。

4人のクリエイターがジャンルを超えて銀座界限で刺激しあっていた時代の活気と、4人の絆を感じることができる貴重な展覧会でした。



■第 280 回 山形季央展

会期：平成 21 年 10 月 5 日～10 月 28 日

入場者：3464 名、一日平均：173 名

化粧や女性の美について熟考してきた山形季央氏の、「顔」をテーマにした実験的な新作を1階に展示しました。地階には、資生堂でのアートディレクションの仕事を中心に展示しました。

日本の美や身体美にこだわり、非日常的な美しい世界を表現する氏の、独特な美学が表現された展覧会でした。



■第 281 回 北川一成展

会期：平成 21 年 11 月 4 日～11 月 28 日

入場者：3611 名、一日平均：172 名

ギャラリー空間全体を活用して、来館者の体に働きかけるといった展示会でした。ギャラリー1階には、大型キャンパスに描かれた作品を壁面いっぱい敷き詰め、地階ではプロジェクターにより投影されたシンボルマーク、ロゴマークが動き回り、来館者の動きに反応するといった個性的なものでした。



■第 282 回 広告批評展

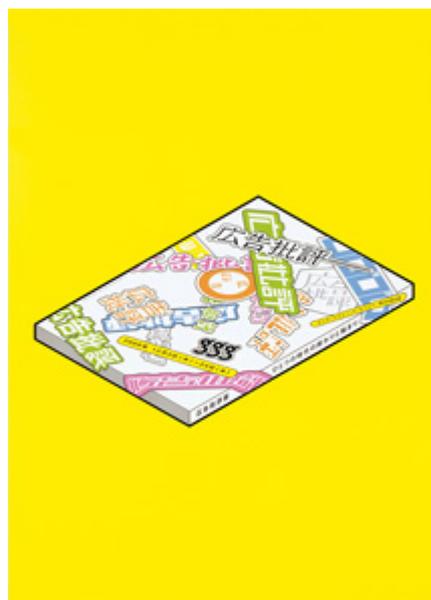
ひとつの時代の終わり始まり

会期：平成 21 年 12 月 3 日～12 月 24 日

入場者：3903 名、一日平均：217 名

月刊誌「広告批評」が、2009年4月号で休館となることを機に企画された展示です。

1979年の創刊から30年間、広告を通じて時代を読み解いてきた軌跡をテーマとしました。時代を代表するCMや新聞広告、本誌ロゴや表紙の変遷などの展示で今後の広告批評のあり方を考察する試みでもありました。



■第 283 回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展Ⅱ

田中一光ポスター1953-1979

会期：平成 22 年 1 月 12 日～2 月 25 日

入場者：8798 名、一日平均：232 名

当財団の田中一光アーカイブの収蔵作品から、1950年代から70年代に制作されたポスター作品161点を厳選して展示しました。

これまでのさまざまな氏の展覧会や作品集でも紹介されてこなかった貴重な作品も多数展示されました。当財団のアーカイブ事業を広くアピールするために、ddd、CCGAへ巡回します。



■第 284 回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展Ⅲ

福田繁雄のヴィジュアル・ジャンピング

会期：平成 22 年 3 月 4 日～3 月 27 日

入場者：4407 名、一日平均：220 名

当財団に寄贈されたポスターアーカイブを記念し、福田繁雄氏の追悼の意もこめて開催いたしました。

108点のポスター作品を中心に展示しました。急逝の際に海外から寄せられた数多くのメッセージや、生前のインタビュー映像も交えて、福田氏の幅広い活動を紹介しました。



(2) dddギャラリー(大阪)の展示

〒550-8508 大阪市西区南堀江 1-17-28 なんばSSビル1階

11:00a.m.ー7:00p.m.(土曜日は6:00p.m.まで) 日曜・月曜・祝祭日休館 入場無料



■第168回 DRAFT展

ブランディングとアートディレクター

会期: 平成21年4月24日~6月5日

入場者: 2716名、一日平均 101名

gggからの巡回展。

■第169回 09TDC展

会期: 平成21年6月16日~7月22日

入場者: 2182名、一日平均 81名

gggからの巡回展。

■第170回 2009ADC展

会期: 平成21年8月18日~10月9日

入場者: 2503名、一日平均: 68名

gggからの巡回展。

■第171回 矢萩喜従郎展

会期: 平成21年10月27日~12月19日

入場者: 1154名、一日平均 30名

gggからの巡回展。

■第 172 回 感じる箱展(dddオリジナル企画)

-grafの考えるグラフィックデザインの実験と検証-

会期：平成 22 年 1 月 19 日～3 月 13 日

入場者：4420 名 一日平均 113 名

graf(グラフィックデザイン事務所)が、箱をテーマに様々な切り口でとらえ、グラフィック表現の新たな可能性を表現した展示です。

いろいろな箱の外と内側、デザインのストーリー性などで、空間性や立体性、たたずまい、人との関係性を感じるような企画展としました。

(3) CCGA 現代グラフィックアートセンター(福島)の展示

〒962-0711 福島県須賀川市塩田宮田 1

午前 10:00～午後 5:00(入館は午後 4:45 まで)

一般=300 円/学生=200 円/小学生以下と 65 才以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

休館は月曜日(5 月 4 日を除く)、4 月 30 日(木)、5 月 7 日(木)

平成 21 年 12 月 24 日(火)～平成 22 年 3 月 5 日(金)は冬期休館

■第 47 回「作品と題名」:

タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.20」

会期：平成 21 年 2 月 28 日～6 月 7 日

入場者：1050 名 一日平均 12.4 名

現代美術を代表する作家たちが制作した、印象的な題名の版画を展示しました。アラン・シールズによる、ユーモア溢れる題名がつけられた作品や、フランク・ステラによる、文学作品や実在の地名から引用した題名の作品 8 作家 43 点を展示しました。



■ 第 48 回「きらめくデザイナーたちの競演
-DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展」

会期：平成 21 年 6 月 13 日～9 月 13 日

入場者：1119 名 一日平均 15.0 名

ggg、dddからの巡回展

DNP グラフィックデザイン・アーカイブ(DGA)に寄贈いただいた作家 69 名を紹介しました。作家二人ずつの作品を対比させ、作品の時代性や作家の個性をより鮮明に浮かびあがらせました。



■ 第 49 回「赤のちから」

タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.21

会期：平成 21 年 9 月 19 日～12 月 23 日

入場者：746 名 一日平均 9.3 名

タイラーグラフィックス・アーカイブ所蔵品から「赤」が主調色、または画面で「赤」が重要な位置を占める作品を選び 14 作家 39 点展示しました。



3 教育・普及事業

(1) ギャラリートーク(セミナー)

展示会の開催に合わせて19回のギャラリートークを開催しました。

ggg(東京)会場: 12回

ddd(大阪)会場: 7回

参加者総計: 1,549人

ギャラリートークでは、会場のセミナー会議室、展示会場、外部のホールなどを使って、展示作家、周辺の方々、キュレーターの方々等に、講演形式、対談形式などさまざまなかたちでグラフィックデザイン、アートへの思いを語っていただき、グラフィックアート、デザイン文化の普及促進につなげています。

また、CCGA(福島)では常時、来館者の求めがあれば一人からでも職員による無料のギャラリー解説を聞けるサービスを行なっています。



(2) gggBooks

gggBooksを4刊発行いたしました。



『gggBooks -89 マックス・フーバー』: 本体 1,165 円、1,500 部

『gggBooks -90 細谷巖』: 本体 1,165 円、1,500 部

『gggBooks -91 山形季央』: 本体 1,165 円、1,500 部

『gggBooks -92 北川一成』: 本体 1,165 円、1,500 部

(3) 講師・審査員派遣

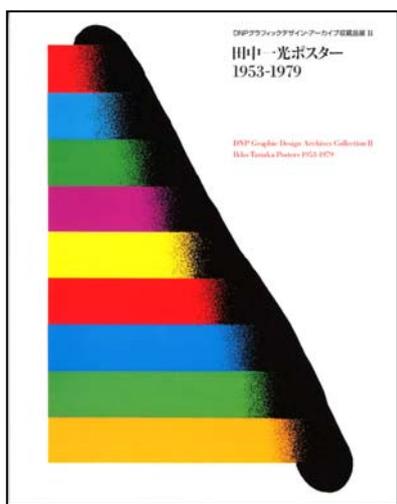
＝平成 22 年 1 月、「第 21 回田善顕彰版画展」(須賀川市商工会議所主催、須賀川市教育委員会後援)に審査員派遣(1 名)

※司馬江漢とならんで江戸後期にわが国でもっとも早く油彩画、銅版画の制作を行なった福島県須賀川市出身の画家、亜欧堂田善(あおうどう・でんぜん、1748-1822)を顕彰する小中学生対象の版画公募展

＝平成 22 年 2 月、「第 4 回ビジュアルアート大賞展」(学校法人国際アート&デザイン専門学校(郡山市)主催)に審査員派遣(1 名)

(4) 図録等の発行と頒布

田中一光ポスター展、福田繁雄展ほか企画展の開催に合わせて、図録を作成しました。田中展、福田展図録は、当財団のアーカイブ作品をアピールするためにも継続的に頒布する予定です。



田中一光展図録



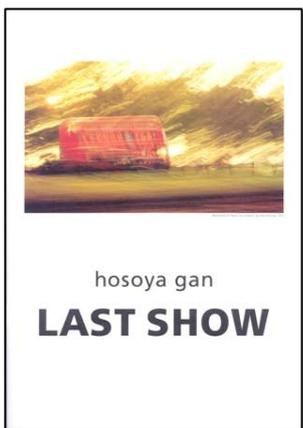
福田繁雄展図録



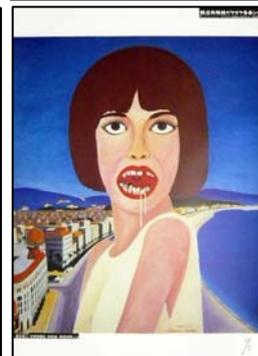
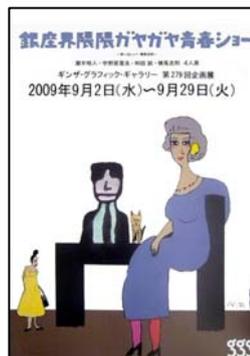
アニュアルレポート 08-09



矢萩展図録



細谷展図録



第 279 回展
オリジナルサイン入りポスター
(上段左より、和田、宇野、
下段左より、灘本、横尾の各氏作)

4 国際交流事業

(1)「Tokyo Art Directors Club Award 2009: 2009ADC 展(ggg 展)ドイツ巡回」

ggg、ddd で 2009 年 7 月に開催した「2009ADC 展」を、ドイツのフランクフルト市立応用芸術博物館に巡回し、日本の広告・グラフィックデザインを紹介しました。3ヶ月の会期で 12000 人を集客し、学芸員からも高い評価をいただきました。

主催：フランクフルト市立応用芸術博物館

会期：平成 21 年 11 月 26～平成 22 年 2 月 14 日

協力：DNP文化振興財団 / ggg / ddd ほか



(2) AGI事務局サポートについて

今年度より、国際交流事業を推進するテーマのひとつにAGI事務局のサポートを加えました。

AGIとは、国際グラフィック連盟、アライアンス、グラフィック、インターナショナルの略です。

グラフィックデザイナーが国・文化を越えて興味や友情を分かち合う事を目的に設立され、現在世界 32 カ国、約 350 名の会員で構成されています。

■主な活動内容

＝AGI 国際本部からのお知らせや情報を要訳し、AGI-JAPAN 会員へ配信しています。

＝日本のデザイン情報および会員情報を、AGI 本部のホームページに掲載することで世界のメンバーに配信しています。

＝総会へ出席しグローバルなグラフィックデザインの動向を把握することと、総会欠席者への概要報告をサポートしています。

＝その他、日本会員と他国会員とのコミュニケーションをサポートしています。

5 研究助成事業

■協賛・協力助成

(1) 第 21 回すかがわ国際短編映画祭へ協賛

すかがわ国際短編映画祭実行委員会／須賀川市教育委員会主催、2009/5、30,000 円

(2) 平成 21 年度須賀川地区高等学校美術部研修会への助成

須賀川地区高等学校美術部連盟主催、2009/5、50,000 円

(3) 「版で発信する作家たち 2009」展へ協賛

版で発信する作家たち展実行委員会主催、2009/9、60,000 円

(4) 第 21 回田善顕彰版画展へ協賛

須賀川商工会議所青年部／須賀川市教育委員会後援、2010/2、30,000 円

■会員入会

事業目的にふさわしい以下の団体の会員となっています。

(1) 東京イラストレーターズ・ソサイエティ

賛助会員

(2) 東京アートディレクターズクラブ

賛助会員

(3) 社団法人日本グラフィックデザイナー協会

賛助会員

(4) 東京タイプディレクターズクラブ

会員

6 収益事業

(1) CCGA 来館者内訳および入館料

※CCGA 入館料は、決算報告上、展示事業収益の中に計上しております。

内訳

一般 @300 円 × 840 名 252,000 円

一般(特別割引) @200 円 × 3 名 600 円

学生 @200 円 × 280 名 56,000 円

合計 308,600 円

(2) CCGA サロン利用料 @200 円 × 152 名 30,400 円

(3) その他収入 6,851 円

缶飲料自動販売機コミッション料

公衆電話 他

以上